

令和5年(2023年)4月12日
まちづくり協議会代表者交流会 資料

まちづくり協議会代表者 様

宝塚市 市民交流部 きずなづくり室
市民協働推進課長 新城 和弘

令和5年度の地域活動のデジタル化へ向けた支援

平素はコミュニティ活動にご尽力賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、地域活動のデジタル化について、昨年度、令和4年度限定で「まちづくり協議会補助金(第4号:デジタル化促進事業)」を交付し、各まちづくり協議会においてデジタル化に向けた環境整備等にご活用いただきました。

地域活動におけるデジタル化の定着を目指して、令和5年度も宝塚NPOセンターに「市民活動促進支援事業」として、まちづくり協議会等へのICT(デジタル化)支援業務を委託し、引き続き個別相談等の支援を継続してまいります。

令和5年6~7月頃を目途に、宝塚NPOセンター職員が市職員とともに各まちづくり協議会の定例会にご挨拶に伺いますので、どうぞよろしく願いいたします。

デジタル技術の活用は、地域活動における活動の充実・継続、負担の軽減などの観点から、今後ますます重要になってまいります。「地域活動のデジタル化の将来像」を目安に、各地域の実情に応じたデジタル活用が進むよう、地域の皆様と一緒に取り組んでまいりますので、引き続きどうぞよろしく願いいたします。

【参考資料】

地域活動デジタル化の将来像_別紙

地域活動のデジタル化の将来像(デジタル化のメリット)

1 活動やつながりを絶やさない環境づくり

オンライン会議ツール等を活用することで、コロナ禍においても人を集めずに会議等が実施でき、地域の活動やつながりを絶やさないための環境づくりに繋がります。

<取り組みの目安>

- 社会情勢や参加者のニーズに合わせて、必要であればいつでもオンライン会議を活用できる環境づくり

2 情報発信の充実

ブログや SNS 等を活用し地域活動の情報発信を充実させることで、誰もが気軽に必要な情報にアクセスできる環境を整えることができます。

<取り組みの目安>

- まちづくり協議会ポータルサイトのブログやその他 SNS 等を活用した情報発信

3 誰もが参加できる仕組みづくり

会議やイベント等にオンライン会議ツール等を活用することで、子育て世代や障碍(がい)のある方など、多様な方がいつでも地域活動に参加できる環境を整えることができます。

<取り組みの目安>

- 社会情勢や参加者のニーズに合わせて、必要であればいつでもオンライン会議を活用できる環境づくり

4 事務効率化による負担の軽減

Word、Excel 等での資料作成、大型モニターを活用したペーパーレス会議、画像や動画を活用した効率的・効果的な会議の実施、メールや LINE 等の活用による役員間の連絡・情報共有の迅速化など、デジタルを活用することで、地域活動の担い手にかかる事務負担の軽減を図ることができます。

<取り組みの目安>

- Word・Excel 等での資料作成
- 大型モニターを活用したペーパーレス会議、画像や動画を活用したより効率的・効果的な会議の実施
- メールや LINE 等での連絡や情報共有

5 地域と行政の迅速で効率的な情報伝達

地域と行政での連絡や資料のやり取り等に、メール等のデジタルツールを活用することで、双方が必要な情報を迅速かつ効率的に伝達できる環境を整えることができます。

<取り組みの目安>

- 行政との連絡や資料のやり取りに、電子メールを活用